

デジタルカメラ 人気10機種 徹底検証

- P.87 ● デジカメ選びのチェックポイント 1
どこで買ったからお買い得?
- P.88 ● デジカメ選びのチェックポイント 2
画像の転送方法は?
- P.90 ● デジカメ選びのチェックポイント 3
スペックを理解しよう!
- P.92 ● 人気10機種大カク回
- P.97 ● ムービーを作りたいならこれがお勧め
- P.98 ● 撮影した画像を比較する
- P.100 ● 座談会「また満足できるデジカメはない!」
- P.102 ● チャート診断
あなたにピッタリのデジカメはこれだ!



秋の新製品ラッシュも落ち着き、年末商戦もそろそろ終盤を迎えようとしている。光学ズームのメガピクセル機、コンパクトタイプの製品が主流となっているように思えるデジタルカメラの売れ行きだが、実際に売れ筋人気機種を調べて見るとそうではないようだ。画質自体が大差なくなり、ユーザーは予算に合わせて、自分の使い道にあったデザインや機能を持つ製品をじっくり探しているのではないだろうか。今回は、大手電気店、カメラ店で、売れ筋の人気10機種を取り上げ、人気の秘密を検証してみた。デジタルカメラを購入する際の参考にしてほしい。

(構成・文：ランディング)

大手カメラ販売店は、機種が豊富

大手カメラ販売店には、現在発売されている機種がほとんど揃っている。購入する機種を店で決めたい人によっては一番選択肢が多く、選びがあるだろう。メーカーによってデジカメの割引率は異なるので、製品によっては価格差がある場合もあるが、各店ほぼ横並びで、かなりの割引価格で販売されている。よほどのことがない限り在庫もあり、購入したらすぐに持って帰って使いたい人にはいいだろう。また、店によって、旧バージョンが目玉商品として格安で売られていることもあるので、少しでも安く購入するための労力を惜しまない人は、歩き回って希望の商品の価格を調べてみては？

近所のカメラ店も要チェック

最近では、大手カメラ販売店でなくても、近所のちょっと大きなカメラ店でもデジタルカメラは取り扱っている。ただし、大手カメラ販売店ほど機種は豊富ではない。定価でしか商品を取り扱わないところもあるが、大手カメラ販売店の価格に近い割引率で販売している店もある。新宿、池袋といった都心まで、わざわざ交通費や時間をかけて買いに行くなら、近くのカメラ店で購入した方が結果的に安上がりになる場合もある。また、近所なら新聞広告なども入

るので、目玉商品をこまめにチェックしておこう。

秋葉原系の電気店やパソコンショップではパソコン接続のオプションを揃えやすい

秋葉原に本店のある大手電気店やパソコンショップの価格はほぼ横並び。ただし、一部安売りの小さな電気店では驚くべき価格で販売されている場合もある。また、各店舗目玉商品が1、2点設定されている場合があり、その商品に限っては価格差が生じている。とはいっても目玉商品として設定されている機種は、旧バージョンだったり、売れ筋の人気機種からはちょっとずれているものが多い。機種は大手カメラ販売店ほどではないが、かなり豊富で秋葉原内の店ならどこで買ってもそう大差はないだろう。ただ、店によっては値切れる場合もあるので、価格交渉をするのもいいだろう。昔ほどではないにしても少しは安くなるかもしれない。また、これらの店では、パソコン周辺機器売場でデジタルカメラが売られている場合が多く、パソコンとの接続について必要なものを揃えることができる。Macユーザーなら、Macintoshを扱っている店舗の周辺機器売場でデジタルカメラを購入すれば、Macに画像を取り込むためのケーブルやカードリーダーといった別売品などの情報を教えてもらったり、まとめて購入できて便利だ。

価格だけならディスカウントショップも…

価格を優先するなら、ディスカウントショップ

での購入するのもいいだろう。ただし、ある一定の機種しかおいていない店が多く、現在の人気商品や新機種は手に入らない可能性が高い。特に光学メーカーの機種は少ない。また、あつたとしても他店とそう大差ない価格で売られている場合が多いようだ。さらに、商品説明などもないので、Macとの接続などの情報が欲しい場合はやめておいたほうが無難。しかし、一般に型落ち品といわれる旧バージョン、あるいはそれ以前の製品なら、やはり格安で入手できる可能性は高い。最近ではクレジットカードが使えるディスカウントショップも増えたが、基本的には現金販売の店が多いということも覚えておこう。

入手までに時間がかかってもいいなら、インターネットで購入するのもよいかも…

購入から入手までに時間がかかってもいいなら、インターネットのショップで購入するという方法もある。地方などで近くに格安の販売店がない場合にもこれは有効だ。インターネットのショップには、秋葉原の大手電機店やパソコンショップ、大手カメラ店などが経営しているものと、小さなパソコンショップ、あるいは店舗を持たないショップが経営しているものがある。秋葉原の大手電機店やパソコンショップ、大手カメラ店などが経営するショップの価格は、実際の店舗と同じか、少し割高になっているところが多い。しかし、小さなパソコンショップ、あるいは店舗を持たないショップが経営するショップでは、大手カメラ店などの価格と同じか、それより安くなっているようだ。ただし、送料は購入者負担の場合が多いので、計算してどちらが安いかを判断することも大切。また、支払い方法は、代金引換宅急便や銀行振込、ローン、クレジットカードなどがあるが、クレジットカードの場合は価格が変わることもある。購入から入手の時間の目安は、ショップによってまちまち。店舗を持たないショップの場合は、在庫を持たず、注文を受けてからメーカーに発注するケースが多く、価格が安い分時間もかかってしまう。メールなどで問い合わせしてしっかり吟味して注文しよう。

購入する機種が決まっているなら、価格は電話で問い合わせてもOKだ

たくさんの店舗を回って、一番安い店を探すなんて面倒と思っている人は、購入したい機種をカタログなどで決めて、各店舗に電話で価格の問い合わせをしてから、一番安いお店を訪れるというのも1つの手だ。忙しい時は相手にされない場合もあるが、たいがいは親切に価格を教えてくれるはずだ。



カメラ選びのチェックポイント1 どこで買ったからお買い得？

カメラを買うなら、大手のカメラ店で買うのが一番お買い得と考える人が多いだろう。しかし、デジタルカメラは、カメラであり、パソコン周辺機器であり、家電製品とも考え得ることのできる商品である。デジタルカメラはいったいどこで買ったからお得なのだろうか？



スマートメディア

スマートメディア (SmartMedia™) は、東芝が開発した Solid State Floppy Disk Card の愛称。このメモリカードを記録媒体としている場合、PC カードアダプタやフラッシュバスを購入すれば、カメラ付属の接続キットは不要だ。別売の接続キットより価格が高くなる場合もあるが、シリアル接続より画像転送速度が速く、ケーブルを接続するといった手間も省けて便利。PowerBook を使用している場合は、スマートメディアをPC カードアダプタ (10,000 円前後) に装着して、PC カードスロットから直接画像をコピーできる。デスクトップ型の Mac でも PC カードリーダー (25,000 円前後) を取り付ければ、PowerBook と同様に画像をコピーできる。

デスクトップ型の Mac の場合は、フロッピー型のアダプタ、フラッシュバス (12,000 円前後) にスマートメディアを装着すれば、読み取り専用ソフトウェアを起動し、フロッピー感覚で画像を取り込むことができる。PC カードアダプタより転送速度は遅くなるが、フラッシュバス以外の機器が必要ないので便利だ。

コンパクトフラッシュカード

米国 SanDisk 社が提唱し、独自開発した小型メモリカードの規格。PowerBook の場合、コンパクトフラッシュカードをPC アダプタに装着し、PC カードスロットに差し込めば、そのままカード内の画像データをハードディスクにコピーすることができる。この場合は、カメラ付属の接続キットは不要。転送速度はスマートメディアのフラッシュバスより速い。PC カードアダプタはスマートメディアよりは安価で、1,500~3,500 円程度で販売されている。ただし、デスクトップ型の Mac の場合は、別にPC カードリーダー (25,000 円前後) が必要。

フロッピーディスク

フロッピーディスクに画像を記録する方式を採用しているのはソニー1社だけ。フロッピーディスクはDOS フォーマットだが、「PC Exchange」がインストールされていれば、フロッピーディスクを読み込み、フロッピーディスク内の画像データをすぐにコピーすることができる。



カメラ選びのチェックポイント 2 画像の転送方法は？

デジカメを購入する前には、撮影した画像をMacに取り込む方法を理解しておいた方がいい。

現在では主に4つの方法がある。

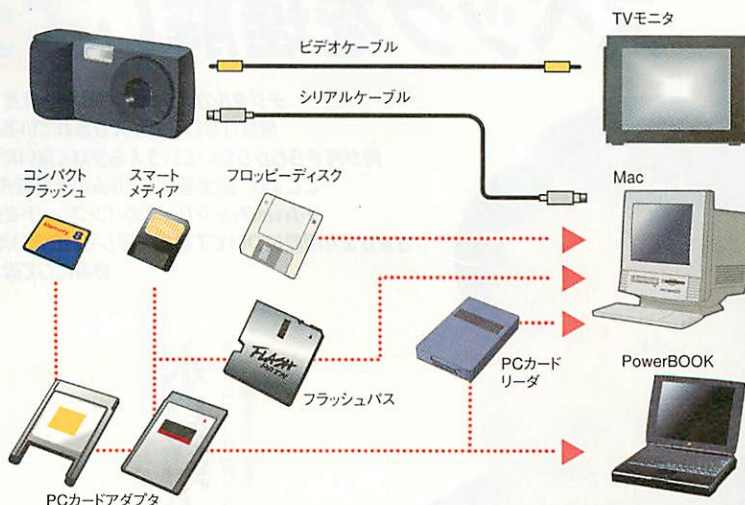
画像の転送方法は画像の記録メディアによっても異なり、記録メディアによって、画像を取り込むための周辺機器や別売のオプション品が必要になる場合がある。各デジカメに必要なオプションを簡単にまとめてみたので参考にして欲しい。

シリアル接続でデジタルカメラ本体から直接Macに画像を取り込む

デジタルカメラ本体から直接、Macに画像を取り込むためには、接続用のケーブルやソフトウェアなどのオプションが必要だ。こういったオプション品は、デジタルカメラ本体に標準添付されていたり、セット販売されている機種もあるが、

別売になっている場合も多い。デジタルカメラ購入の予算には、こういった画像を取り込むためのオプション品の価格も考慮しなければならないということを覚えておこう。ただし、記録メディアがスマートメディアやコンパクトフラッシュで、画像をMacにコピーするだけでOKなら、接続キットを購入せずにPCカードアダプタやフラッシュバスを購入してもいいだろう。

Pix700 (フジフィルム)	スマートメディア	別売インターフェイスセット (7,000 円：接続ケーブル1本とドライバソフトウェア)
CLIP-IT80 (フジフィルム)	スマートメディア	別売インターフェイスセット (7,000 円：接続ケーブル1本とドライバソフトウェア)
C-1400XL (オリンパス)	スマートメディア	別売シリアルケーブルインターフェイスパソコン接続キット (10,000 円：接続ケーブル、TWIN/Plug-in、Kai's Photo SOAP for GAMEDIA、ユーティリティソフトウェア)
C-900 Zoom (オリンパス)	スマートメディア	別売シリアルケーブルインターフェイスパソコン接続キット (12,000 円：接続ケーブル、Photo Deluxe for ビジネス/2.0J、ユーティリティソフトウェア)
COOLPIX910 (ニコン)	コンパクトフラッシュ	別売パソコン接続キット (16,000 円：ドライバソフト Nikon View 900、IPIX World (IPIX 画像サンプル集)、InMedia Slides & Sound Plus 2.0 (ニコン用試用版) とのカップリングCD-ROM、Adobe Photo Deluxe 2.0J CD-ROM、シリアルケーブル (Windows & Macintosh 用)、AC アダプタ)
DC260 Zoom (コダック)	コンパクトフラッシュ	別売パソコン接続キット Macintosh 用 (7,800 円：接続ケーブル、画像取り込みソフト Digita Desktop)
PowerShot A5 Zoom (キヤノン)	コンパクトフラッシュ	バリューキットとして本体に標準添付 (PC 接続キット (Mac で使用可能なオプションのみ掲載)：Adobe Photoshop プラグインモジュール、Pixa Color Player、Time Tunnel Browser、Photo Stitch—パノラマ合成ソフト、インタフェイスクーブル)
DC-4U (リコー)	スマートメディア	ユーティリティソフト DU-4M、パソコン接続ケーブル CC-3M などパソコン接続に必要なものが本体標準添付
DSC-V100 (三洋電機)	スマートメディア	別売パソコン接続キット (10,000 円：Photo Labo、TWIN ドライバ、Photoshop プラグイン、PhotoSuite SE/J、DOS/V 用接続ケーブル、Macintosh 用変換アダプタ)
CP-700Z (エプソン)	コンパクトフラッシュ	PC 接続ケーブル、Mac 用変換コネクタ、カラリオソフト (CD-ROM) などすべて本体標準添付



iMacに画像を取り込むには？

iMacには、フロッピーディスクドライブ、シリアルポートはない (98年12月現在)。ただし、99年1月にコダック社からiMac接続キット (5,800 円) が発売される予定だ。

1 撮像素子について

——撮像素子とはどういう意味ですか？

“撮像”とは絵を撮ることで、“素子”とは、そのためにどういう部品を使っているかということです。この項目では、撮影するための部品、すなわちCCDについて説明しているわけです。

——1/2というの？

CCDの対角線の寸法の公称値のこと。テレビのインチ数と同じ

ようにCCDのサイズも対角線の寸法で表します。

——インターライン方式について教えてください。

シャッターが開いたとき、CCDに光が当たるのですが、CCDは入ってきた光を電気信号に変えるのです。そして電気信号を順番に読んでいく。このとき、どのように読んでいくのかという方式の一種が、インターライン (IT) 方式です。

——150万画素 (総画素) の意味は？

CCDは光を感じる小さな部屋がたくさん集まっているようなもので、その部屋がどういふふうに集まっているかが、画素数というものなのです。150万画素とはその小さな部屋が150万個存在するということです。

——単板IT方式とは？

銀塩カメラのネガフィルムには、光を感じて変化するセンサーの役割と、画像を蓄えておくメモリの役割があります。デジカメの場合は、撮像素子は像をとらえることしかしません。被写体に光が当たって反射してきたものをレンズで集めて、センサーで読みとるわけです。このセンサーの役割をするものがCCDなのです。CCDは入ってきた光を電気信号に変えます。しかし、これには、カラーの情報はありません。そこで、CCDの前に「カラーフィルタ」というものを付けます。カラーフィルタというのは色セロハンのようなと考えてください。たとえば、あるCCDすべての前に赤のフィルタを付けます。このCCDは赤 (Red) の光だけを担当します。もう1つ別に、グリーン (Green) だけを担当するCCD

を作ります。そして、ブルー (Blue) だけを担当するCCDを作ります。そうすると、色の三原色 (RGB) すべてを担当するCCDができあがり、この3つを重ね合わせるとちゃんとした絵になるわけです。これを「三板」といいます。

コンシューマ向けのデジカメでは、コスト的にも、携帯性からも、3つのCCDを付けることはできません。そこで、1つのCCDの中の1つ1つの部屋 (画素) の前にRGBの各色を含んでいるモザイクフィルタ (図1) というフィルタを付けたわけです。これが「単板方式」です。

——正画素原色CCDとは？

“原色”は、原色 (RGB) を使ったフィルタのことを指します。この他に原色に対する補色 (CMY) を使ったものがあります。一般的に、補色フィルタのほうが感度が高いのですが、CMYで撮影したにもかかわらず、パソコンにはRGBで取り込まなくてはならないので、CMYをRGBに変換しなければなりません。この変換時に演算のエラーなどが起こる可能性があり、そのため、補色フィルタは、色の再現がよくありません。感度は低くなるのですが、原色フィルタのほうが色再現はよいのです。ですから、CCDが同じでもフィルタが違うと特性も異なるわけです。

“正画素”とは、CCDの小さな部屋 (画素) が正方形をしているということで、ほかに長方形のものもあります。ビデオカメラでは、長方形/補色フィルタが使われています。正画素/RGBである当社は、色再現がよい、パソコンとの親和性という理由から、当初から正画素/原色を採用しています。今やデジカメでは、正方形画素、原色フィルタが主流になっているようです。

2 記録メディアについて

——スマートメディアを採用している理由は？

当社では、96年7月にDS-7という機種を発売しました。これは、世界初のスマートメディア採用機で、それ以来、当社の製品では一貫してスマートメディアを採用しています。それ以前のデジカメは、内蔵メモリだけで、メモリがいっぱいになると、パソコンに画像データを転送してメモリをクリアしないと、撮影が継続できなかったわけです。そんな時DS-7とスマートメディアの開発のタイミングが合い、採用しました。現在では16MBが最も容量の大きいスマートメディアですが、来年の前半には32MBが発売される見込みです。

3 記録方式について

Exif (イグジフ) は、JEDA (ジェイダ: 日本電子工業振興会) の規格になっているもので、画像ファイルのフォーマットの名前です (図2)。現在のバージョンは2.1。現在、Exifを採用しているメーカーは多くなっています。コンパクトフラッシュを採用しているメーカーでもExifを採用していますね。JPEGを採用しているところも実はExifなんです。

1 撮像素子	1/2インチ単板 IT方式 150万画素 (総画素)・正画素
2 レンズ	フジノン単焦点レンズ
3 記録メディア	スマートメディア (3.3V/5V両対応)
4 記録画像ファイル形式	Exif ver.2.0 (JPEG)
5 画調	RGB各8bit各256階調 1677万色
6 撮影枚数	Fine 約11枚、Normal 約22枚、Basic 約44枚 [スマートメディア 8MB使用時 (1280×1024モード)]
7 記録画素数	1280×1024ピクセルおよび640×480ピクセル
8 撮影感度	ISO100相当
9 焦点距離	f:35mm相当 (35mmカメラ換算)
10 接写距離	9cm 名刺サイズを撮影可能 (マクロポジション)
11 オートフォーカス	CCD AF (マクロ切り換えあり)
シャッター	1/4~1/1000秒 (メカシャッター)
絞り	2段 (F3.2, F8) 自動切り換え
露出制御	プログラムAE (TTL64分割測光方式)
露出補正範囲	0.3EV ステップ (-0.9~+1.5EV)
ホワイトバランス	5500K固定 (マニュアル撮影時5段切り換え)
ストロボ	オートストロボ (GN0.8) 最大2.5m
光学ファインダー	実像式ファインダー
液晶モニター	2インチ低温ポリシリコン11万画素TFTカラー液晶モニタ
ビデオ出力	NTSC (専用ジャック)
デジタル入出力	RS-232C/422
電源	充電式リチウムイオンバッテリー NP-100・ACパワーア

カメラ選びのチェックポイント3 スペックを理解しよう

デジタルカメラのパンフレットを見ても、
見慣れない単語が入り乱れているので、
何か何やらわからないという人も少なくないだろう。
ここでは、富士写真フィルムの永島靖夫氏に
FinePixシリーズのパンフレットを例に、
さまざまな用語について丁寧に解説していただいたので
参考にして欲しい。

富士写真フィルム株式会社
電子映像事業部 営業部 主査
永島靖夫氏

4 撮影感度について

デジタルカメラの撮影感度を銀塩カメラのフィルムの撮影感度に当てはめて表記しています。銀塩カメラのフィルムの感度は白黒フィルムにおける定義で、デジカメでは感度の定義が厳密に当てはまらないので“相当”と記しています。現時点ではフィルムほど選択肢はないので、差はあまりないでしょう。

5 レンズについて

——単焦点とズームの違いは？

デジカメでは大きくわけて、単焦点とズームがあります。レンズから、光がレンズを通して集まるところまでの距離を焦点距離といいます。単焦点とは、この焦点距離が1つしかないということです。ズームはレンズが動きますから、焦点距離が1つではないので、変えることができるわけです。広角側が35ミリ、望遠側が105ミリの場合、焦点距離の比は3倍となり、これを3倍ズームというわけですね。

単焦点では、被写体を大きく撮ろうとすると、近づきにくい。ズームの場合は近づかなくても、被写体を大きく撮ることができます。結果、撮影時の自由度が高くなります。撮影する立場からすると、単焦点よりもズームがあったほうがいいかなというケースが多いようです。ただ一方で、ズームの場合はレンズを大きく動かすことになるので、当然奥行きが大きくなり、カメラ自体も大きくなり、小型化が難しくなるわけです。

——単焦点カメラのマクロ処理は？

単焦点では動く部分がないと説明しましたが、当然、焦点を合わせるために動く部分はあります。通常の撮影では、カメラからある程度離れた距離から無限までが撮影範囲になりますが、それよりも近い距離にあるものを撮影するとき、マクロポジションに切り替えるようになっています。外からでは分かりませんが、内部的に光学系で、レンズを調節して動かしています。

——レンズ部分の説明によく記載されている“F”と“f”というの？

大文字のFはレンズの明るさのことです。この数値が小さいほど、レンズが明るい（絞りをあける）ということになります。ただし、一概に明るければよいというものではありません。レンズが明るい（絞りが開く）とピントが合いにくくなります。ですから、ズーム機能が搭載されているFinePix600Zでは、ピントがよく合うように、絞り気味にしているため、レンズが若干暗くなっていますが、ピントがよく合っている分、シャープな画像になっています。

小文字のfは焦点距離のことです。

6 焦点距離について

FinePix700はf:35mm相当（35ミリカメラ換算）と記載していますが、実際の焦点距離は7.4

ミリです。しかし、この数値では利用者がピンとこない。一般の一眼レフに置き換えて表現したほうがわかりやすい。一眼レフの標準50ミリに対してどれくらい広角なのか望遠なのかをわかりやすくするために、35ミリカメラ換算としているわけです。35ミリ相当は広角気味ということとです。

7 接写距離、撮影可能範囲について

撮影可能な距離を記載してあります。マクロ機能がある場合、たいがいマクロ撮影可能距離から無限大（∞）ですね。

8 露出制御について

ここに記載されている“TTL64分割測光方式”のTTLとは、レンズを通ってきた光を利用してということ、64分割とは、画面を縦8、横8に分け、それぞれの区分で明るさを演算して決めるという方式です。現在のデジカメでは64分割は多いほうです。

露出の制御は、シャッタースピード、絞りでコントロールします。通常のデジカメでは、これらはカメラにおまかせ。プログラムAEとは、カメラが、絞りもシャッタースピードも決めるということです。FinePix600Zの場合は、絞り優先AE選択可能と記載してありますが、この場合は絞りが2水準あり、どちらかに応じてシャッタースピードはカメラが決めるという方式になっています。絞りを絞れば広い範囲でピントが合う。逆に絞りを開けると、主要被写体にはピントが合うが他はぼやけたりするような効果があるわけです。

9 ホワイトバランスの自動切り替えについて

ホワイトバランスは、白い物が正確に白に見えるようにするという機能です。フィルムには、Daylight、Tungstenといった種類があり、光源に応じて使い分けますが、デジカメやビデオカメラの場合は、カメラ側でホワイトバランスをとります。たとえば、ビデオカメラには、カメラの前に白い紙をかざし、光源に応じて自動調節したりします。ところが、人間はどんな状況下でも白い物を白だと感じるし、いつでも白い紙を持っているわけではないので、これは実用的でない。そこで、デジタルカメラでは、視野の中全体が平均してグレーになるように調節する、という電氣的な調節の方式をとっています。これをAWB（オートホワイトバランス）といいます。この方式の弱点は、パンしたときに背景が変わると、そ

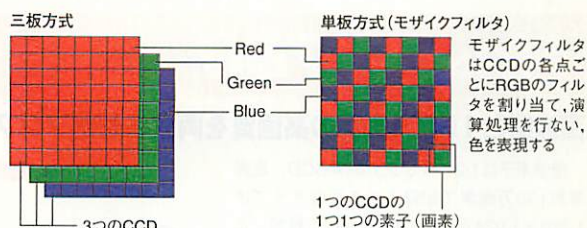


図1 ●モザイクフィルタの構造

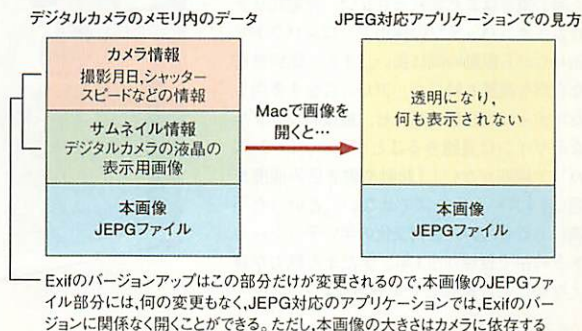


図2 ●Exif ファイルの構成

れに応じてホワイトバランスが変わること。これを防ぐために、晴天屋外、屋内などというように、モードを切り替えることで大幅なホワイトバランスのズレがないようにしているわけです。

10 ファインダーについて

“光学”と記載されている場合は、主に液晶ビューファインダーと区別するためです。

11 電源について

バッテリーには、アルカリ電池やマンガン電池といった使い切りの一次電池と繰り返し利用できる二次電池があります。一般的に一次電池より二次電池の方がパワーがあり、長時間機器を使用することができます。

二次電池にはニカド、ニッケル水素、リチウムイオン電池があり、ニカド電池、ニッケル水素は単三形なので、多くの場合アルカリ電池を代わりに使うこともできます（使用時間は短くなる）。中でもリチウムイオンは機器の小型化に適しており、ACアダプタで本体内充電することも可能ということから、リチウムイオン電池を採用しているところが多いようです。

銀塩カメラではフィルムが消耗品ですが、デジカメの場合は電池が消耗品になります。二次電池は購入時は高価に感じるでしょうが、トータルでは安くなるはずですから、私個人としては環境問題も考え、二次電池の使用をお勧めします。



FinePix700

富士写真フィルム

35mm相当
F3.2/8希望小売価格●99,800円
実売価格●59,800～79,800円
(12月1日現在)

高級感と150万画素の高画質を両立させたフジフィルムのベストセラー

撮像素子は1/2インチ正方面素CCD。総画素数150万画素で記録される画像サイズは1,280×1,024と640×480pixelの2種類。この高スペックで10万円を切る価格で登場した時の驚きはまだ忘れられない。充電式リチウムイオン電池の採用で、コンパクトでありながら駆動時間は長い。また、階調豊富な自然な画質も特長だ。アルミ合金を多用したボディは高級感を漂わせ、縦長のシンプルなデザインは見飽きることがない。「レンズバリア機能がない」「起動や書き込み速度が遅い」「ズームレンズではない」といった不満はあるものの、世代交代の早いデジタルカメラの中で登場から1年、まだまだ魅力が衰えないことは驚異的であらう。

Information

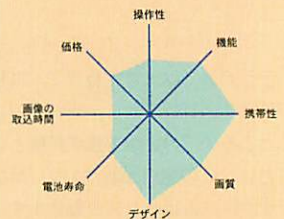
撮像素子	1/2インチ単板IT方式150万画素正方面素原色CCD
出力サイズ	1,280×1,024pixelおよび640×480pixel
撮影範囲	0.09m～∞(マクロ機能あり)
ホワイトバランス	5500K固定(マニュアル撮影モード時5段階モード切り替え可)
記録媒体	スマートメディア(3.3V/5V)
液晶モニタ	2インチ低温ポリシリコン11万画素TFTカラー液晶モニタ
電源	充電式リチウムイオン電池NP-100・AC/パワーアダプター(AC100V用)
問合せ先	富士写真フィルム(株)／03-3406-2387



スマートメディアは、右側面のカードスロット脇のスライドボタンを動かせば、カードスロットカバーが開き、取り出すことができる。本体同梱の2MBスマートメディアでは、FINEモード時、1280×1024pixelで約2枚、640×480pixelで約11枚、NORMALモード時、それぞれ約5枚、約21枚、BASICモード時、それぞれ約11枚、約38枚撮影することができる。

ここが人気！

メーカーに対する信頼性も高く、ズームはないものの150万画素の高画質、さらに高級感のあるスタイリングの良さやポケットにも入る携帯性により、後継機種が発売された後もスタンダードな人気を保つ。



150万画素 AF 単焦点 245g



C-1400XL

オリンパス

36～110mm相当
F2.8～3.9希望小売価格●128,000円
実売価格●78,800～89,800円
(12月1日現在)

高画質一眼レフ方式で好評を博したC-1400Lのバージョンアップモデル

高画質一眼レフタイプの普及価格モデルとして好評を博したC-1400Lのバージョンアップモデル。撮像素子は2/3インチ正方面素CCD、総画素数は141万画素で基本仕様に変更はない。レンズは36～110mm相当の3倍ズーム。解像力が高く、シャープな画像が特徴的だ。記録画像サイズは1,280×1,024と640×480pixelの2種類。記録媒体は3.3Vのスマートメディアで16MBタイプにも対応している。バッファメモリの容量が拡大され、画像の記録中でも最大5カットまで撮影が可能となった。マニュアルホワイトバランス機能も搭載されている。ボディデザインに大きな変更点はないが、新たに外部ストロボ用のターミナルが付けられた。

Information

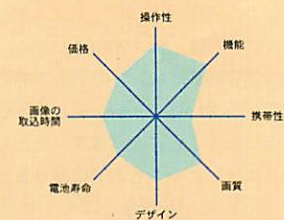
撮像素子	2/3インチ原色フィルタ141万画素
出力サイズ	1,280×1,024pixel (SHQ/HQモード)、640×512pixel (SQモード)
撮影範囲	0.3m～∞(マクロ機能あり)
ホワイトバランス	フルオートTTL/マニュアル6段階
記録媒体	スマートメディア(3.3V)
液晶モニタ	1.8インチTFTカラー液晶、モニタ画素数約61,000画素
電源	単3ニッケル水素電池、ニッカド電池またはアルカリ電池4本
問合せ先	オリンパス光学工業(株)／0426-42-7499



スマートメディアは、左側面のカードスロットカバーを開き、手でメディアを引き抜いて取り出す。書き込みランプが点灯している間も手動でいつでも抜き差しできてしまうので、注意が必要だ。本体には8MBスマートメディアが同梱されているが、別売の大容量16MBスマートメディアにも対応している。

ここが人気！

一眼レフ方式で人気のあったC-1400Lの後継機種で、連写機能が搭載された。コンパクトタイプが主流の中、他のデジタルカメラには見られないホールディング性の高いL型のデザインも人気。



141万画素 AF 3倍ズーム 470g



CLIP-IT80 富士写真フィルム

40mm相当
F4/8

希望小売価格●49,800円
実売価格●36,500～39,800円
(12月1日現在)

85万画素ながら、スナップ撮影に必要な機能を網羅したシンプルなカメラ

総画素数85万画素のエントリーモデル。液晶モニタは1.8インチのD-TFDで低温ポリシリコンTFTと比較すると見劣りがするが、レスポンスはよく確認用には充分だ。光学式ファインダーも搭載。レンズは40mm相当の単焦点でパンフォーカス。開閉式のレンズバリアはないが前面に固定式の透明カバーが付く。画質はまずまずのレベル。ボディは高級感に欠けるが、電池4本が1列に並び、奥行きはスリムだ。モード選択ダイヤルを使う設定操作は分かりやすい。スナップ撮影に必要な機能を網羅しながら、シンプルにまとめられたカメラである。

Information

撮像素子	1/3インチ単板全画素読み出し85万画素正方向画素原色CCD
出力サイズ	1,024×768pixelおよび640×480pixel
撮影範囲	0.1m～∞ (マクロ機能あり)
ホワイトバランス	自動切り替え (マニュアル撮影時、5ポジション切り換え可能)
記録媒体	スマートメディア (3.3V)
液晶モニタ	1.8インチカラー液晶モニター D-TFD7万画素
電源	単三形アルカリ乾電池、リチウム電池、充電式高容量(1000mAh)ニカド電池、充電式ニッケル水素電池各4本または専用ACパワーアダプターAC-5V (別売)

問合せ先 富士写真フィルム(株)/03-3406-2387

→正面

シャッター フラッシュ 単焦点レンズ



POWERスイッチ

モードダイヤル

→背面



1.8インチD-TFD
7万画素TFTカラー液晶モニター

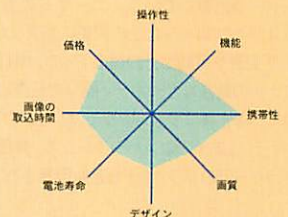
→右側面



スマートメディアは、右側面のカードスロット脇のスライドボタンを動かせば、カードスロットカバーが開き、取り出すことができる。基本設計はFinePix700と同じ。本体同梱の2MBスマートメディアでは、FINEモード時、1024×768pixelで約6枚、640×480pixelで約22枚、NORMALモード時、それぞれ約13枚、約30枚撮影することができる。

ここが人気!

85万画素だが、メガピクセル機にも迫る高画質の割には低価格。FinePix700までは必要ないが、CLIP-IT50では物足りないといったユーザーにお薦め。ポケットに気軽に入れておける手軽さが人気



85画素万 AF 単焦点 200g



C-900ZOOM オリンパス

35～105mm相当、
F2.8～4.4

希望小売価格●89,000円
実売価格●64,200円～69,800円
(12月1日現在)

銀塩コンパクトカメラ「μシリーズ」の流れを汲む流麗なフォルムが特徴

撮像素子は総画素数131万画素の1/2.7インチ正方向画素CCD。補色系フィルタだが彩度が高く、階調再現に優れた高画質記録が特長である。画像サイズは1,280×960と640×480pixelの2種類。レンズは35～105mm相当の3倍ズームでオートフォーカス。切り換え式マクロモードの合焦範囲は20～80cm。ボディは銀塩コンパクトカメラ「μ (ミュー) シリーズ」の流れを汲む流麗なフォルム。電源スイッチを兼ねるレンズバリアがデザイン上のポイントともなっている。少々厚みがあるものの、気軽に持ち歩けるカメラだ。

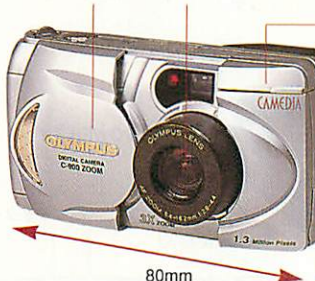
Information

撮像素子	1/2.7インチCCD固体撮像素子131万画素 (有効画素数125万画素)
出力サイズ	1,280×960pixel (非圧縮SHQ, SHQ, HQモード), 640×480pixel (SQモード)
撮影範囲	0.2m～∞ (マクロ機能あり)
ホワイトバランス	フルオートTTL, プリセット (昼光, 曇天, 白熱灯, 蛍光灯)
記録媒体	スマートメディア (3.3V)
液晶モニタ	1.8インチTFTカラー液晶 (低温ポリシリコン) モニタ画素数約114,000画素
電源	単3アルカリ電池、ニッケル水素電池、ニカド電池 (4本)

問合せ先 オリジナル光学工業(株)/0426-42-7499

→正面

POWERスイッチ ズームレンズ

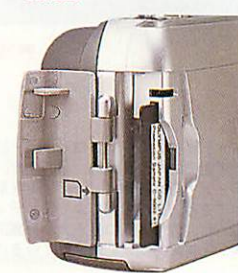


ストロボは手動ポップアップ式

101mm

1.8インチ低温ポリシリコン
11万4千画素TFTカラー液晶
モニター

→右側面



視度調整付きの光学式実像ファインダー

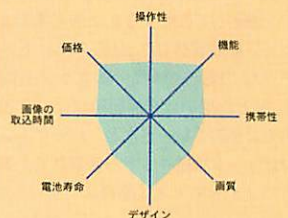
シャッター

→背面

スマートメディアは、左側面のカードスロットカバーを開き、手でメディアを引き抜いて取り出す。カバー裏面にスマートメディアの挿入方向を示す絵が描かれているのは親切。本体には8MBスマートメディアが同梱されているが、別売の大容量16MBスマートメディアを使えば、プログラム合成が可能だ。

ここが人気!

C-1400シリーズではちょっと大きいというユーザーに人気のあったコンパクトタイプのC830Lの上位機種。光学ズーム、連写機能が搭載され、定価はC830Lより高くなったが、実売価格はさほど変わらずで人気。



131画素万 AF 3倍 zoom 270g



COOLPIX910 ニコン

38～115mm相当
F2.4～3.8

希望小売価格●99,800円
実売価格●69,800～79,800円
(12月1日現在)

高画質で人気のあるCOOLPIX900の改良モデル

普及価格モデルながらニコンの名に恥じない高画質で人気のあるCOOLPIX900の改良モデル。総画素数は130万画素で、撮像素子は1/2.7インチの正方面素CCD。記録される画像サイズは1,280×960と640×480pixelの2種類。レンズは3倍ズームニッコールレンズでレンズ部回転式カメラには珍しく光学ファインダーも搭載している。ユーザーの要望を取り入れたプログラム上の変更に加え、カラーリング変更や可動部分の精度アップ、増灯用ターミナルの新設など、ボディ周りの見直しも図られている。オプションアクセサリとしてワイドとフィッシュアイのコンバータレンズ、外部スピードライト用のブラケットなども用意されている。

Information

撮像素子	総画素数130万画素、1/2.7インチ
出力サイズ	1,280×960pixel
撮影範囲	0.2m～∞ (マクロ機能あり)
ホワイトバランス	オートホワイトバランス、 マニュアル設定可能
記録媒体	コンパクトフラッシュカード
液晶モニタ	2インチ低温ポリシリコンTFT液晶、 114,000画素、バックライト輝度調節 機能付き
電源	単3形アルカリ乾電池×4本、単3形 ニカド電池×4本、単3形ニッケル水 素電池×4本、単3形リチウム電池× 4本、外部電源(6.5V、2.5A)
問合せ先	(株)ニコン/03-3826-3052

→正面



→下部



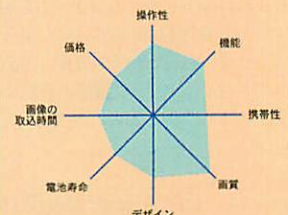
→背面



コンパクトフラッシュカードの装着は本体下部にある。ちょっと固めだが、イジェクトボタンを押せば、コンパクトフラッシュカードが飛び出してくる仕組みになっている。本体には8MBのコンパクトフラッシュカードが同梱されている。

ここが人気！

フジのFinePix700と同様に人気、評判ともに高かったCOOLPIX900の後継機種。ニコンという光学メーカーの信頼性や前機種に対する評価、外部フラッシュの取り付けといった拡張性が人気の決め手。



130万画素 AF 3倍 zoom 360g



DC-4U リコー

38～115mm相当
F2.4～3.6

希望小売価格●84,800円
実売価格●65,800～59,800円
(12月1日現在)

132万画素、3倍ズーム、オールインワンでコストパフォーマンスの高い機種

DC-4Tのグレードアップモデル。撮像素子は総画素数132万画素の1/2.7インチCCD。画像サイズは1,280×960と640×480pixelの2種類。レンズは35～105mm相当の3倍ズーム。オートフォーカスに加えマニュアルフォーカスによる撮影も可能。レンズユニット部回転式で光学ファインダーはない。ストロボはレンズ部と離れて本体側に付いているが、連動して回転するため前方撮影に支障はない。記録媒体は3.3Vのスマートメディアで2MBのものが1枚付属する。上位機種のDC-4との違いは音声記録がないこと、液晶モニタのグレードなど。パッケージにはコンピュータ接続キットも含まれて、おりコストパフォーマンスは高い。

→正面



→左側面



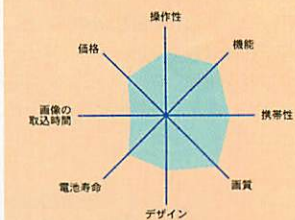
→背面



スマートメディアのカードスロットは、左側面にある。手でカバーを開け、そのまま、スマートメディアを引き抜けば、メディアを取り出すことができる。装着も同じようにメディアを差し込むだけ。カードスロットカバー裏面に差し込むメディアの方向が記載されているのでわかりやすい。

ここが人気！

本体、パソコン接続用のソフト、ケーブルがセットになったバリューセットが人気だったRICOH DC-4Uの後継機種。このバージョンもオールインワンタイプ。実売価格も割引率が高く、割安感が人気。



132万画素 AF 3倍 zoom 285g



DC260 Zoom コダック

38~115mm相当
F3.0~4.7

希望小売価格●99,800円
実売価格●82,400~89,800円
(12月1日現在)

スローシャッター機能や多様なフォーカスモードなどユニークな機能を装備

総画素数160万画素、38~115mm相当3倍ズームレンズ搭載のハイスピードカメラである。CCDサイズは1/2インチと大きく、高画質の記録が可能だ。画像サイズは1536×1024と1152×768、768×512pixelの3種類。画像の縦横比率は35mmフィルムに合わせてある。スローシャッター機能や多様なフォーカスモードを駆使して凝った絵作りも可能だ。バッファメモリにより2コマまでは連続撮影ができるが連続2コマの記録にはかなり時間がかかる。また、スタンバイに15秒ほどかかるなどスピードの面でやや欠点があるものの、さまざまな撮影機能はやはり魅力だ。USBで接続できるiMac用接続キットも1月に発売予定である。

→正面



→背面



→右側面



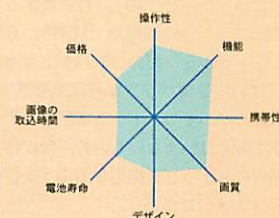
コンパクトフラッシュカードの取り出しは、カードスロットカバーを手で開けて、カード横にある突起を起こして押す。カード装着後は、この突起を寝かせてロックすることができる。

Information

撮影素子	1/2インチ正方面素CCD原色フィルタ
出力サイズ	高解像:1,536×1,024pixel 中解像:1,152×768pixel 標準:768×512pixel
撮影範囲	0.3m~∞
ホワイトバランス	オート/マニュアル設定可
記録媒体	コンパクトフラッシュカード
液晶モニター	2インチ低温ポリシリコンTFT
電源	単3電池4本(アルカリ、ニッケル、ニッケル水素に対応)
問合せ先	日本コダック(株)/03-5448-2399

ここが人気!

160万画素、光学3倍ズームに加え、高級感のある黒のボディ、音声録音、連続撮影が人気の機種。ちょっとプロフェッショナルっぽい感じが本格派を目指すユーザーに人気。



160画素万 AF 3倍 zoom 525g



DSC-V100 サンヨー

43mm相当,
F2.8/4.4

希望小売価格●58,000円
実売価格●39,800円~44,500円
(12月1日現在)

35万画素としては高画質、多機能でコンパクトなカメラ

総画素数35万画素のVGAカメラである。撮像素子は1/3インチ正方面素CCD。記録される画像サイズは640×480と320×240pixelの2種類。レンズはズームなしのパンフォーカス(43mm相当)。決して高くない基本スペックだが、内部には魅力的な性能を秘めている。バッファメモリ領域が広く15カットまでの連写機能を持ち、記録速度も極めて速い。また、320×240pixelの動画(10fps)を最大5秒間まで記録できる。このクラスとしては画質も高く、高性能ながらボディは実にコンパクトだ。電源は単3×2本でニッケル水素電池2本と充電器も付属する。VGAカメラとしてはやや高い価格設定だが、実勢価格は下がっている。

→正面



2インチ低温ポリシリコン
11万画素TFTカラー液晶
モニター

スマートメディアの取り出しは下部のカバーを開ける。ただし、電池が同じ場所にあるため、スマートメディアを出し入れるたびに電池も飛び出てしまうのが難点。



→背面

→下部

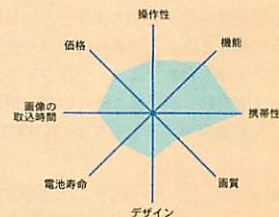


Information

撮影素子	1/3インチ総画素35万画素CCD
出力サイズ	Hi1, Hi2: 640×480/ S: 320×240pixel
撮影範囲	0.1m~∞ (マクロ機能あり)
ホワイトバランス	フルオートTTL
記録媒体	スマートメディア (3.3V)
液晶モニター	2インチ11万画素低温ポリシリコン液晶
電源	単3形ニッケル水素電池2本(同梱)、 単3形アルカリ乾電池2本
問合せ先	三洋電機(株)/0720-70-4184

ここが人気!

35万画素と画素数は低いですが、その割には質のよい画像とコンパクトな本体ながら、連写機能、動画機能などが搭載された多機能機種。ちょっとした記録用にはもってこいのお遊び感覚が人気。



35画素万 AF 単焦点 200g



PowerShot A5 Zoom

2.8～170mm相当
F2.6

希望小売価格●84,800円
実売価格●64,800～67,800円
(12月1日現在)

ジュラルミン製のボディで高級感が漂うコンパクトズーム

スタイリッシュなデジタルカメラPowerShot A5のズームレンズ搭載モデル。2.5倍のズームレンズの焦点距離は28～70mm相当で、やや広角よりの設定である。撮像素子は1/3インチ長方画素CCD。総画素数は81万画素である。画像サイズは1,024×768と640×480pixelの2種類。記録媒体はコンパクトフラッシュで8MBが1枚付属する。電源は専用ニッケル水素電池(2CR5)を使用する。ジュラルミン製のコンパクトなボディや機械式のレンズバリアからは高級感も漂う。画質はややハイコントラスト気味で取り立てて高画質とはいえないものの、常に持ち歩いて気軽にスナップを撮影するような使い方に最適なカメラである。

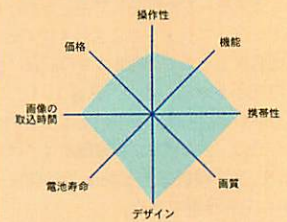


Information

撮影素子	81万画素1/3インチCCD (有効74万画素)
出力サイズ	1024×768pixel (Largeモード)、 512×384pixel (Smallモード)
撮影範囲	0.17m～∞ (マクロ機能あり)
ホワイトバランス	オート/マニュアル(太陽光・くもり・ 電球・蛍光灯)
記録媒体	コンパクトフラッシュカード
液晶モニター	2インチ低温ポリシリコンTFT
電源	専用Ni-MH電池(オプション)、 リチウム電池(2CR5)
問合せ先	キヤノン販売(株)/043-211-9556

ここが人気!

コンパクトズームの決定版ともいえるべき機種。ポケットに気軽に入れられる大きさや、センスの良い高級感あるスタイリングが人気。さらに本体に接続ソフトウェアやパソコン合成ソフトウェアが標準添付されていることも人気の一つ。



81画素万 AF 2.5倍 zoom 260g



CP-700Z

34～102mm相当
F2.8～4.7

希望小売価格●84,800円
実売価格●65,500～69,800円
(12月1日現在)

オールインワンで、買ったその日から気軽に使える高解像度カメラ

撮像素子は総画素数130万画素の1/2.7インチ正方画素CCD。記録される画像サイズは1600×1200と1280×960、640×480pixelの3種類。1600×1200はカメラ内でソフトウェア補間を行なっている。レンズは3倍ズームのオートフォーカス。4MBメモリを内蔵し、コンパクトフラッシュとの併用型。液晶モニターは2インチの低温ポリシリコンTFTで外部光採光式。上部のスリットから反射板へ直接外光を取り入れるものでバックライトとの併用ができる。ユニークなフォルムのボディは樹脂製。高級感こそないが、気軽に使える高解像度カメラとして面白い存在だ。

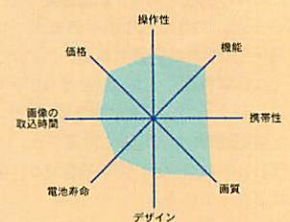


Information

撮影素子	1/2.7インチカラーエリアCCDセンサー -130万画素有効画素数124万画素
出力サイズ	1,600×1,200 (192万画素)、 1,280×960、640×480、 1,600×600、1,280×480pixel
撮影範囲	0.2m～∞ (マクロ機能あり)
ホワイトバランス	オート/固定(太陽光)/ カスタム設定可
記録媒体	内蔵フラッシュROM4MB、コンパ クトフラッシュメモリーカード
液晶モニター	採光式(バックライト2Way)2インチ TFTカラーLCD
電源	単3アルカリ乾電池、Ni-MH(ニッ ケル水素)、リチウム電池、Ni-Cd(ニッ カド)電池電池4本
問合せ先	エプソン販売(株)/0424-99-7111

ここが人気!

従来から人気のあったCPシリーズの最新機種。接続ケーブル類とソフトウェアがすべて本体に含まれているオールインワンパッケージのため、本体価格だけで、他に費用がかからないという格安感が人気。



130画素万 AF 3倍 zoom 310g





DSC-X100 サンヨー 65,000円

ムービーはスチールと同じクオリティで撮影されるのできれいだ
が、ファイル容量が大きくなってしまいがちなのが難点。ズーム機能がない
のは残念だが、その分コンパクトなので携帯にはよいだろう。

1/3インチ85万画素CCD固体撮像素子 ● レンズ F=2.8/8, f=6mm, 固定焦点 (35mmフィルム換算43mm) ● スマートメディア ● ファイル形式 JPEG準拠 (Exif2.0準拠) AVI (Open DML Motion JPEGフォーマット準拠) ● シャッタースピード 1/4~1/10,000秒 ● 2インチ11万画素低温ポリシリコンTFTカラー液晶ディスプレイ
問合せ先 三洋電機株式会社 (0720-70-4184)



MVC-FD91 ソニー 138,000円

記録メディアがフロッピーなので、撮影したデータをすぐにMacに取り込むことができる。操作性もよく、バッテリーも長持ち。この製品は14倍ズームレンズが付いているため、大きく電格も高いが、14倍ズームが不要なら、ムービー機能付き、3倍ズームでサイズも小さめ、価格も安いMVC-FD81がお薦めだ。

1/3インチ85万画素プログレッシブ方式 ● 光学14倍ズーム ● 記録メディア フロッピーディスク ● ファイル形式 JPEG/MPEG1 ● フルレンジオートフォーカス/マニュアル ● シャッタースピード 1/60~1/4000秒 ● 2.5インチTFTカラー液晶ディスプレイ
問合せ先 ソニー株式会社 (0564-62-4979)

動画撮影機能付きのデジタルカメラが発売されたとき、何でデジタルカメラでわざわざ動画を撮らなければならないのだろうか？ 動画ならビデオで撮ればいいではないかと思ったが、使ってみて納得。実に簡単に楽しいムービークリップが作成できるのだ。偏見を忘れて、動画撮影機能付きも悪くないと思った。

動画というと、ついつい、ビデオカメラで撮影したものを思い浮かべてしまうが、デジタルカメラの動画記録時間は短く、最長で60秒。初めて撮影したときは、この時間では何もできないなと感じたが、撮影した動画をMacで見ると、結構面白い。



digilux ライカ オープンブライズ

ライカのデジタルカメラ第一号モデルで、海外で販売されているものの輸入品。日本語マニュアルは添付されているが、ドライバソフトは英語表示のみ。ヨドバシカメラなどで入手できる(92,800円。98年11月現在)。ライカがデジカメなんて、賛否両論あるようだが、実際に取ってみると、グリップ部分が手になじみ、愛着を感じてしまう。少々値段が高いように感じてしまうが、仕様はFinePix700と同じで、パソコン接続インターフェイスセットも同梱されているため、多少割高といった程度。こういったカメラを使ってみるのも一興かも。

1/2インチCCD (150万画素) ● f3.2/7.6mm単焦点レンズ (35mm換算35mm相当) ● スマートメディア3.3V/5V (2~16MB) ● JPEG (Exif)形式 1280×1024pixel ● 640×480pixel ● CCDオートフォーカス (マクロ切替えあり) ● シャッタースピード 1/4~1/1000秒 ● 2インチTFTカラー液晶ディスプレイ
問合せ先 日本シーベルヘグナー (03-5441-4517)

こんなデジカメもあるぞ 持っているが目立つこと請け合い!?



サムライ1300DG 京セラ 89,800円

写真を見ると、一昔前のビデオのような感じで、ちょっと大きいように思えるが、実際は、57(幅)×91(高さ)×121(奥行き)mmと実にコンパクト。この形も決して奇をてらただけのものではない。片手で撮影、操作するというコンセプトから必然的にこのフォルムになったのだろう。ビデオを撮影するように、片手でカメラ本体を握れるように設計されているため、荷物を持ったままでも安定感があり、簡単に撮影できる。

1/2.7インチ正方面素インターレース読み出し方式CCD (132万画素) ● レンズ f=7~21mm (35mm換算約45~135mm相当) ● コンパクトフラッシュ ● JPEG準拠 ● 記録画素数 1280×960pixel ● 640×480pixel ● 320×240pixel ● ビデオフィールドバック式オートフォーカス ● シャッタースピード 1/8~1/1000秒 ● 1.8インチ約11万画素TFTカラー液晶モニター
問合せ先 京セラ株式会社 (03-3708-3114)

QV7000SX カシオ 88,000円



132万画素、光学3倍ズームと、デジタルカメラとしてもかなりの高画質で、スチールとムービーの両方を楽しむことができるカメラだ。また、レンズ部分が回転できるのも、セルフムービーを撮影することも可能。ムービーデータは、AVIだが、本体に標準装備のソフトウェアを使えば、QuickTimeやアニメーションGIFといったファイル形式に変換することもできる。

1/3インチ正方面素原色CCD (132万画素) ● レンズ F2.8~3.5, f=5.0~10.0mm (35mm換算32~64mm相当) ● コンパクトフラッシュカード ● JPEG (Exif)/AVI ● 形式 1280×960pixel, 640×480pixel ● 外部位相差検出方式オートフォーカス ● (マクロ切替えあり) ● シャッタースピード 1/4~1/1000秒 ● 2.5インチTFT低反射カラー液晶ディスプレイ
問合せ先 カシオ計算機株式会社 (03-5334-4828)

ムービーを作りたいなら これがお薦め!!

カタログには掲載しなかったが、今秋ムービーの作成可能なカメラが3機種、発売された。
連写機能の延長でしかなかったムービー機能が、徐々に本格的になりつつある。
ここではムービーを作成できる最新デジタルカメラを紹介しよう。

長いと飽きてしまうので、4秒か5秒、長くて10秒くらいの短いムービークリップにすると、飽きずに楽しく見られる。また、これくらいの長さなら、ファイルサイズもそんなに大きくならないので、圧縮すればEメールに添付して送ることも可能だ。

楽しめる要因はムービーデータが何の処理もせずにMac上で再生できるという簡便さにもある。ビデオカメラで撮影した画像をMacに取り込むには、ビデオキャプチャボードが必要だったり、ムービー生成のソフトウェアが必要だったりするが、デジタルカメラの場合、撮影した時点ですでにムービーファイル(AVIか、MPEG形式)が生成されてい

るので、Macに取り込むだけですぐに再生できるのだ。また、MVC-FD91、QV7000SXなどは、撮影データのインデックスをHTML形式のファイルとして記録しているので、Macに取り込み、Webブラウザで画像をみることも可能だ。

動画のファイル形式は、MVC-FD91がMPEGで、DSC-X100、QV7000SXは、AVI形式。MPEGなら、QuickTime2.0のムービープレーヤーで再生可能。AVIなら、QuickTime3のMoviePlayerで再生できる。また、QuickTime3PROなら、AVI、MPEGともにコピー&ペーストで編集することも可能だ。

撮影した画像を比較する

蛍光灯下で撮影した画質を比較してみた。左側はストロボを使用しない室内でのサンプル画像、右側はストロボを使用した場合のサンプル画像である。室内の光源は3波長形昼白色蛍光灯40Wが4本、一般家庭の室内とほぼ同じ明るさからやや暗いと思われる状態で撮影した。デジタルカメラの設定は、ストロボのON/OFF以外はすべてオートで、補正は行っていない。モデルとカメラの位置はすべて同じにし、カメラの持つ画角を構図に反映させた。ここに掲載したサンプル画像は、デジタルカメラ本来のカラーモードである

RGBカラーモードから、商業印刷用のCMYKカラーモードに変換して、4色フルカラーで印刷しているため、Mac上に取り込んだままの色が再現できていない部分もある。画像データ上部に記載した各社のホームページには、各デジタルカメラの仕様やサンプル画像が用意されているので、モニタ上での表示色についてはこちらを参考にしてもよいだろう。また、「書き込み時間」に記載した秒数は、各デジタルカメラの最高画質が撮影できるモードでストロボを使用して撮影したときにかかった時間だ。(レビュー：狩野千英)

銀塩フィルムによる撮影

85mm, F4.5

⇒蛍光灯下
オートモード(プログラム)



⇒ストロボ
オートモード(プログラム)



使用した機材はNikon F4, AF 60mm F2.8S, フィルムはEPP135-36 (ISO 100) をノーマルで使用した。測光はフラッシュメーター、マニュアルで撮影を行った。色調補正フィルタは使用していない。デジタルカメラと同じ状況で撮影、現像したものをもそのまま入稿、印刷した。蛍光灯下では、カラーフィルムの特性により緑かぶりしている。ストロボを使用することによって色のこぼりはかなり補正された。デジタルカメラでは、オートホワイトバランスにより自動的に補正されるはずだ



FinePix700

フジフィルム

35mm相当
F3.2/8
1280×1024pixel

<http://www.fujifilm.co.jp/products/>

書き込み時間: 約12秒

⇒蛍光灯下
Fineモード/オートモード/AF



ホワイトバランスのデフォルトの設定が5500K固定のため蛍光灯下の撮影では色カブリを起こす。ストロボを使わない屋内撮影にはマニュアル設定をした方がよいだろう。色カブリ以外は良好な画質である。柔らかな印象の画像だがこれはこのカメラの性格である

⇒ストロボ
Fineモード/オートモード/AF



若干コントラストが低いが画質である。拡大してもほとんどノイズが見られない。シャープネス処理もわずかなので、くっきりとプリントしたい場合はレタッチソフトでシャープネス補正が必要だ。レンズとストロボの位置関係で被写体の影がややうろさい感じだ



C-1400XL

オリンパス

36~110mm相当
F2.8~3.9
1280×1024pixel

<http://www.olympus.co.jp/>

書き込み時間: 約10秒

⇒蛍光灯下
SHQモード/オートモード/AF



ISO100相当のCCD感度を持ちAE時の最長シャッタースピードは1/4秒なのだからここまで暗くはならないはずだ。原因は分からないが、自動露出制御が適正に機能しなかったものと思われる。実際には記録画像を確認してマニュアル補正などを使い再撮すればよい

⇒ストロボ
SHQモード/オートモード/AF



ストロボ撮影も暗い画像になっている。シャドウ部は完全につぶれ、ハイライト側の明度が低すぎる。このカメラ特有の彩度の高さも濁りが加わっては印象が悪い。特に人物の肌に濁りと色カブリが現れているのはいただけない。解像力の高いカメラだけに残念だ



CLIP-IT80

フジフィルム

40mm相当
F5.5
1024×768pixel

<http://www.fujifilm.co.jp/products/>

書き込み時間: 約6.5秒

⇒蛍光灯下
Fineモード/オートモード/AF



光量不足で階調もフラット気味。若干の色カブリもある。肌色に濁りが加わっているのは印象が悪い。過去、画質の評価が高かったメーカーだがどうも後退してしまった感じがする。もっとも、廉価なエントリーモデルに過大な期待をかける方が間違いかもしれない

⇒ストロボ
Fineモード/オートモード/AF



色カブリが見られる。ハイライトは完全に白く飛んでいるがその他の中間調がシャドウ寄りではフラットな感じを与える。縮小印刷では分からないが画像圧縮ノイズとは別にCCDノイズが現れている。肌のシャドウ部分などに疑色があり、全体の印象を悪くしている



C-900ZOOM

オリンパス

35~105mm相当
F2.8~4.4
1280×960pixel

<http://www.olympus.co.jp>

書き込み時間: 約7秒

⇒蛍光灯下
SHQモード/オートモード/AF



光量不足がそのまま表れてしまった画像だ。プログラムAEによりシャドウ側の明度を引き上げているが階調の偏りが一目で分かる。また、オートホワイトバランスも適正には働いておらず、蛍光灯特有の青カブリを起こしている。印象は銀塩フィルム画像に近い

⇒ストロボ
SHQモード/オートモード/AF



ハイライト側の明度が低いためフラットな印象の画像だ。彩度も同様に低い。若干の色カブリもあるがスナップ撮影用途なら気になるほどではない。ノイズが少ないのでレタッチソフトで比較的に補正できるだろう。ストロボによる影は自然な位置に出ている



COOLPIX910 ニコン

38~115mm相当
F2.4~3.6
1280×960pixel

http://www.nikon.co.jp/ei_j/

書き込み時間:約7.5秒

⇒蛍光灯下

Fineモード/オートモード/AF



光量不足のためフラットな画像になっている。とはいえ、シャドー部はつぶれることなく再現されており、ホワイトバランス調整もかなり頑張っている。レタッチソフトでハイライト側を調節してコントラストを高くすれば驚くほどきれいになる。高画質といってよい

⇒ストロボ

Fineモード/オートモード/AF



階調再現はほぼ完璧だ。色調は自然で質感も出ている。欲をいえば肌色のくすみやや気になる。シャープネス処理が弱いのでソフトな画質だがこれはこのカメラの性格だ。唯一の欠点はストロボがレンズの真横にあるため被写体の影の位置がうるさいこと



DC-4U リコー

38~115mm相当
F2.4~3.6
1280×960pixel

<http://www.ricoh.co.jp/>

書き込み時間:約14秒

⇒蛍光灯下

SuperFineモード/オートモード/AF



ホワイトバランス調整が適正ではなく色カブリを起こしている。人物の肌、フルーツなど見慣れたものの、色相が違ってしまつたと印象の悪い写真になってしまう。また、階調が少なくシャドー側が黒くつぶれ、ハイライトが白く飛んでいるため画像補正も難しい

⇒ストロボ

SuperFineモード/オートモード/AF



ストロボ画像も蛍光灯画像と同様に階調が少なく、ホワイトバランス調整が適正に行なわれていない画像である。内蔵ストロボで極端な色カブリを起こしてしまうのは問題だろう。自然光では良好な画質を得られているので、原因はCCD感度の低さにあると思われる



DC260 Zoom コダック

38~115mm相当
F3.0~4.7
1536×1024pixel

<http://www.kodak.co.jp>

書き込み時間:約16秒

⇒蛍光灯下

高解像モード/オートモード/AF



全体にやや黄色みがかった。ホワイトバランス調整がややずれているようだ。また、ハイライト側の明度が低く、ややコントラスト不足を感じる。とはいえ、画質レベルは高い。画像圧縮に伴う若干のエッジノイズ以外は目立つノイズはない。階調も豊富である

⇒ストロボ

高解像モード/オートモード/AF



充分に明るい画像だが、明るすぎてシャドー部の濃度が不足気味。シャドーが効いていないため、ややメリハリに欠ける画像となっている。それでも濃りのない色調が気持ちいい。縮小印刷ではわかりにくい、着物の質感再現は今回のテスト機の中で最もきれい



DSC-V100 サンヨー

43mm相当
F2.8/8
640×480pixel

<http://www.sanyo.co.jp/AV/DSC/>

書き込み時間:約6.5秒

⇒蛍光灯下

Hi1モード/オートモード/AF



やや色カブリが目立つ画像。それでも人物の肌やフルーツなどに濁りがないため印象は悪くない。髪などシャドー部は黒くつぶれている。もっとも、VGAサイズのカメラではコントラストを高めなければ、小さな画像でメリハリをつけられないという現実がある

⇒ストロボ

Hi1モード/オートモード/AF



やや色カブリがある。階調も不足気味で全体にやや暗い。このカメラのCCD感度はISO140相当で決して低くはないので、中間調からシャドー側の階調を豊富にしてボリューム感を持たせているようだ。なお、画像圧縮ノイズとは別にCCDノイズも現れている



PowerShot A5 Zoom キヤノン

28~70mm相当
F2.6
1024×768pixel

<http://www.canon-sales.co.jp/Product/PowerShot/>

書き込み時間:約5秒

⇒蛍光灯下

LargeFineモード/オートモード/AF



光量不足でフラットな画像になっている。ホワイトバランス調整も適正ではなく、色カブリを起こしている。CCDノイズとシャープネス処理、画像圧縮によるノイズが発生しており、たとえばレタッチソフトでコントラスト調整を施しても画像劣化を伴ってしまう

⇒ストロボ

LargeFineモード/オートモード/AF



色調はまずまずのレベルである。階調に偏りはなく、ほぼ満遍なく配分されている。ただし、ハイライト、シャドー部がともに階調不足でハイコントラストな印象を与える。また、シャープネスも強く処理されており、よく言えばくっきりとした画像になっている



CP-700Z エプソン

34~102mm相当
F2.8~4.7
1280×960pixel

<http://www.i-love-epson.co.jp/>

書き込み時間:約6秒

⇒蛍光灯下

高精細モード/オートモード/AF



オートホワイトバランス調整機能は適正に働いている。厳密に言えば若干の色カブリがあるのだが、気にならないレベルだ。階調配分はハイライト側にやや不足があるが、これもさほど気にならない。ストロボを使わずに蛍光灯下でここまで写せば充分であろう

⇒ストロボ

高精細モード/オートモード/AF



階調再現は偏りもなく適正レベルだ。色調も良好だ。やや彩度を高くしているようだが、不自然ではない。拡大してもCCDノイズや画像圧縮によるノイズはほとんど見られない。また、シャープネス処理に伴うエッジノイズも少なく、高画質画像といえるだろう

座談会

「まだ満足できる デジカメはない!?!」

実売価格5~10万円クラスで、
人気のデジタルカメラスペックを比較してみても、
実際の使い勝手や個人の趣味や嗜好によって評価が変わってくる。
そこで、普段からさまざまなデジカメに触れているお三方に、ホンネでデジカメについて語っていただいた。



素電池だと長持ちはするんですけど、やっぱり充電し
なければならない。
TAC●だから、私は液晶
をオフにして使ってます。
液晶を表示していると電池
がすぐなくなるので。この
とき、ファインダーをのぞ
いたときの感じが気持ちよ

くないといやだなということはあるですね。でも、ファインダーをのぞいて撮ると、撮れた画像がずれていたりするんで困るんです。そういう意味でオリンパスはいいですよ。

狩野●それでも、電池の持ちは以前よりはずいぶんよくなりましたね。ずいぶん前にClipIt-30という機種がありましたが、あれは使いやすくてすぐお気に入りでした、でも、電池があつという間になくなるのが欠点だったんですね。それに比べれば、ずいぶんよくなっています。あのころは、出歩くときに、電池を8個ぐらい持ち歩いていましたから。

——パソコンに取り込む方法はいろいろありますが、結局どれがいいと思いますか？

限●僕の場合はPowerBookを使っていて、PCカードアダプタで直接取り込めるので、コンパクトフラッシュでもスマートメディアでも基本的には問題ないんです。ただ、PowerBookからデスクトップへはネットワーク接続しなければいけない。これはけっこう面倒くさいわけです。だからといって、シリアル接続だと、20分ぐらいかかっちゃいますから。フラッシュバスも時間がかかりますね。16MBぐらいを転送するには、軽く20分ぐらいかかるでしょう。USBが使えるようになれば、それがいいでしょうけど。

TAC●私は、フラッシュバス使ってますけど、速度にはそれほど不満はないですけどね。

限●転送する容量が大きくなると、そうも言っていられなくなりますよ。チャイムが鳴るでしょ？いいかげんにしてくれという感じで（笑）。ほかの作業は何もできなくなるし。

TAC●でも、デスクトップの場合、シリアル接続の転送ソフトに比べれば速いですよ。

限●それだったら、PCカードリーダーの方がいいですよ。価格は25,000円くらいで、シリアル接続のPCカードリーダーだと9,800円くらいのももありますから。

狩野●こういったことは、買った後に気付くことな



——98年は、低価格モデルで35万画素から80万画素が主流になるなど、デジカメの新しい流れもできました。相変わらずブームのようなものはまだ続いていると思うのですが、デジカメの現状についてどうお考えですか？

狩野●元々、機械類は好きなので、デジカメが出たときから欲しいなと思っていました。でも、デジカメのレビュー記事を執筆するためにいろいろな機種を触っていると、ここが気に入らないという部分がなにかと目についてしまい、まだまだかなという印象です。

限●私も同感です。ほとんどの製品を使ってみるんですが、どれもどこか気になるところがあって、カメラとしてはまだ完成されていないと思いますね。ほとんどの製品がとりえず便利には使えるんですが、少々高価なコンパクトカメラになっているような気がします。35mmのコンパクトカメラなら2万円前後で買えますからね。ソニーのDSC-D700(23万5千円)ぐらいのスペックのものが10万円ぐらいに下がってくれば理想なのですが……。

狩野●1年ぐらい前ですが、フジのFinePix700が出る寸前に「メガピクセルのデジカメが10万円をきるXデー」などと雑誌などで騒がれていた時期があったんです。でも、実際に150万画素で99,800円と発表された時は驚きましたね。値段とスペックだけでもインパクトが大きかったんですが、実際に手にしてみて、短い期間にあればさばらしいデザインのものでよく作ったなと感心

しましたね。ただ、それ以降のカメラは、普通のコンパクトカメラタイプのデザインに偏っていったような気がします。今のところはCCDを使ったコンパクトカメラという感じですね。来年の夏以降になれば面白い機種が出るんじゃないかと期待しています。

限●通常の35ミリカメラってこなれてるじゃないですか。技術にしてもデザインにしても。それに比べてデジカメは、技術も、操作感もまだまだという感じはしますね。絵はかなりのレベルにきてると思いますが、コストを落とすために仕方がないのかもしれませんが、不満点はいっぱいあります。ただ、最近のデジカメは改良されてきて、ずいぶんよくなりましたね。

——選ぶときのポイントはいろいろあると思うんですが、みなさんどういったところにポイントをおかれますか？

限●スピードは大きいですよ。オリンパスの新機種は、銀塩カメラのように撮れますよね。

狩野●サンヨーのDSC V100もいいんですよ。1秒かからないですから。このスピードは感動ものですね。それとコダックのDC260Zoomも2カット目まではいけるんですよ。

限●この間、オリンパスの1400XLを使ったんですが、5枚では寂しいですね。バンバン撮っていると、5枚撮ると1分間ぐらい何もできないんです。じーっと待っていなければいけない。5枚連写ってメチャクチャ難しいですから、1秒間に3枚ぐらい撮れるので、1.5秒の連写になります。1.5秒の連写って手作業では無理ですから。もっとたくさん撮れるようになって欲しいですね。

TAC●電池も結構大きなポイントですよ。

限●大きいですよ。コストもかかるし。

TAC●そうですね。電池ではお金がかかりまし、せっかく外に持って歩きたいと思って、電池が心配で結局持ち歩かなくなりました。

限●最近の充電電池、リチウムイオンやニッケル水

隈 夏樹氏

テクニカルプランナー

現在、展示会やCD-ROM、Web、広告も含めて、全般的にコンピュータがらみの企画を専門に行なう。デジタルカメラは、展示会の記録、ビデオのロケハン、Webへの即時配信などに利用





TAC氏

アーティスト

陶彫や絵画などのアート作品を制作。グラフィックデザイナーとして、書籍カバーをデザインすることも。デジタルカメラは、書籍のカバーデザインに利用

んですよね。普通はシリアル接続が多いんじゃないでしょうか？ 私はいろいろ使うようになったから、PCカードリーダーを買いましたが、一般の人はさあ取り込むぞというときに、シリアルケーブルをパソコンに差して、専用の取り込みのソフトを立ち上げてというような状況だと思うんです。それを不満に思ってるんじゃないですか？

TAC●取り込みソフトはエプソンなどは確か本体価格に含まれているからいいんですけど、ほとんどのものは別売だから、本体とは別に1万円ぐらい見ないといけないうです。買う前にはこれもチェックポイントですね。

限●1万円の違いは大きいですがもんね。僕がコニカのメガピクセル機を買ったのも、ヨドバシカメラのタイムサービスのセールで接続キットも同梱されていたからなんです（笑）。

——デザイン的な魅力はユーザーにはどれだけ有効だと思いますか？

限●キャノンのPowerShot A5 ZoomやフジのFinePix700などはデザインだけで飛びついている人も多いでしょう。

狩野●仕事で使うのあれば、どういう要望があるか明確になり、それを基準に機種を選びますが、遊びとなると全く違って、ユーザーの気持ちにフィットするものを選ぶでしょう。

たとえば、デジカメの良さである、情報を簡単に撮影できて、それをすぐに再生できるという点。これには、本体が思いつき小さいことが必要。使わないときはなくて、撮りたいときにすぐにはと取り出せるようなもの。しかも、持っているだけで幸せになれるようなデザインのものがホビークラスとして欲しいですね。

——今回取り上げた10機種の中ではどれがお薦めですか？

限●ニコンのCOOLPIX910です。画質的にはトップクラスでしょう。Photoshopで自動補正をかけただけで一発で鮮やかになりますからね。他の中では、補正がしにくいからです。

狩野●私もその点では同感です。

限●あと、別売のレンズやストロボ用ブラケットを取り付けられるなど、マニアックなところもいいですね。

TAC●回転するのもいいですよ。ニコンやリコーのデジカメのように、くるくると回ったりする

と、いろんな方向が撮れますから、セルフポートレートも簡単に撮れますしね。それだけでも結構楽しそうに思ってしまうですね。

限●レンズ部分が回るのって重要なんです。カメラを上に向けて撮るときなんてファインダーをのぞけないじゃないですか、そういったときにレンズだけを回転させて、液晶で確認するといひんです。わりとこれは重要だと思います。

TAC●下を撮るときも非常に便利で、私は自分で手書きで描いた絵をスキャナ代わりにデジカメで撮ったりしていたので、下に向けたりするのは非常に楽でしたね

狩野●リコーのDC-4Uなんか別売ですけど、リモコンで操作できるんです。カメラを持って液晶側にレンズを向けて液晶を見ながら、リモコンで



パチンと……。なかなか便利ですよ。

TAC●私はデザイン的に、小さくて持ち運びがしやすいFinePix700が好きですね。でも、私の手のサイズにはちょうどいいのですが、手の大きい方はかえって持ちにくいかもしれませんね。

限●キャノンのPowerShot A5 Zoomは80万画素ですが、これがメガピクセルならとても魅力ありますね。

狩野●撮影した画像を見たときはグッときたんですよ。でも本体を見たら、残念ながらちょっと胸ポケットには入らないんですよ。

限●どの製品もそうですが、電池を収納するスペースがあるのでデザイン的にきついんです。そういう意味ではやはりFinePix700はいいですよ。

狩野●サンヨーのマルチーズ（DSC V1008）は、最初持って歩くのがちょっと恥ずかしかったんですが、使ってみたら非常によかったですね。書き込みも早いし、動画を5秒間撮れたり、音声も録れるなど、なかなかよくできていました。これをお寺に持っていき、たまたま鐘をついていたシーンを撮ったのですが、「ゴーン」という鐘の音も入っていて感動しましたね。

TAC●10機種並べて見ると、私はやはりPowerShot A5 Zoomが一番上品に見えますね。色も

前バージョンよりよくなっていますし。

限●オリンパスのC-900Lは人気が出るんじゃないでしょうか。デザインもまあまあで。コンパクト、おまけにズームが付いている。1400シリーズじゃちょっと大きいという人にはお薦めです。

——デジカメを評価する時に最も着目するポイントはどこですか？

限●まず携帯性、次に画質とデザインですね。総合すると、これをクリアしているのがやはりニコンのCOOLPIX910になるんです。これに連写機能が加わったということないのですが……

TAC●一生に一度のチャンスみたいのを撮りたいと思っている方たちには、やはり普通のカメラの画質に負けないぐらいの画素数も必要なのかなとも思います。でも私は、外の情報をパソコンの中に取り込むようなことに利用することと、携帯して外で持ち歩くことを前提に考えたいですね。そういう意味でキャノンのPowerShot A5 Zoomと、フジのFinePix700が気に入っているんです。

狩野●僕は見た目から入るんですけども、デザインの善し悪しというか、うんと大きくてもすごくいいものが出たら、それに飛びついてしまうかもしれない。そうすると、携帯性をそれほど重視してるかと言われると疑問が残るんです。

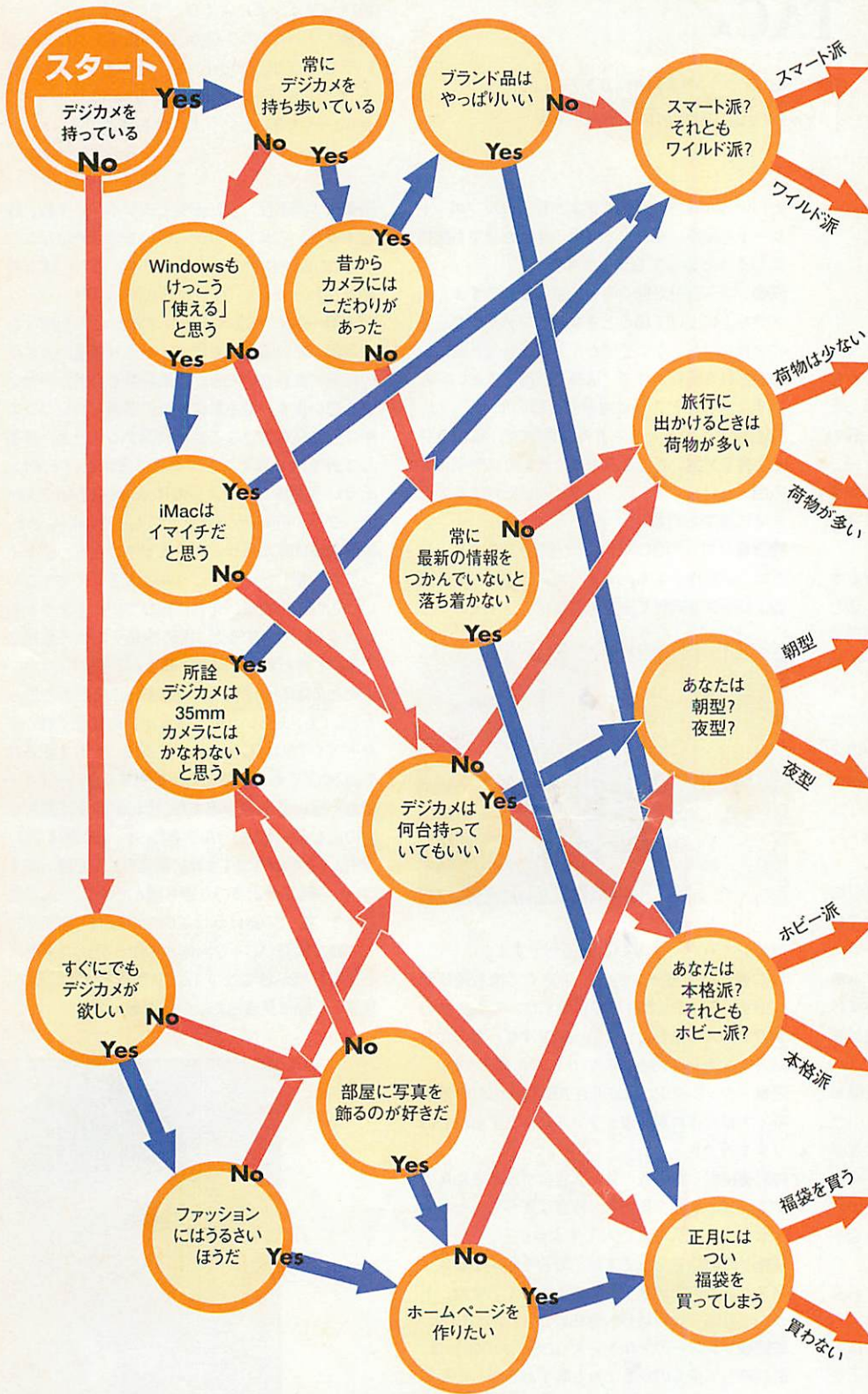
たとえばiMacがでたとき、あっこれだ！と思ったとしても、ああいう形をあらかじめ自分で思い浮かべていたわけじゃないですよね。それを示されて、初めてこれだと思ったわけですから、デジカメでもそういうものが出たら、それが自分が選んだものになるんだと思うんですよ。そういう意味では、今ちょっとないんですよ。訴えるものを持ったすばらしい製品が出るのを待ち望んでいる、そんな感じですよ。強いてあげればこの中では、FinePix700ですね。横並びじゃない何かを作ろうとした姿勢にとっても好感が持てますし、全然安っぽくなくて、投資した額に見合ったものだと思います。



狩野千英氏

アートディレクター

本職はグラフィックデザイナーだが、Mac使っているうちにハードウェア関係のレビューを依頼されるようになる。本誌デジタルカメラのレビューを執筆。



PowerShot A5 Zoom キヤノン

なにごとにも合理的でないと気がすまないあなたには、携帯性と高画質を両立している、小さなボディがかわいいこれをお薦め。パソコン接続キットやソフトも付属して充実

C-1400XL オリンパス

自分の価値観を大事にして積極的に活動するあなたには、高画質で軽快操作のこれをお薦め。一眼レフなんだから、ポケットに入らないことに文句をいわないこと

CLIP-IT80 富士写真フイルム

デジカメに興味はあるけれど、面倒くさいことが苦手なあなたには、コンパクトでシンプルな操作感のこれをお薦め。メガピクセルに負けない高画質にも納得

DC-4U リコー

いつも自分を表現したいと思っているけどマイペースなあなたには、リモコン、インターバル撮影もできる多機能なこれをお薦め。パソコン接続キットも付属でお買い得

COOLPIX910 ニコン

常に最良を求めるアーティスト的なあなたには、高画質が評判のCOOLPIX900の後継機であるこれをお薦め。別売のレンズやストロブ用ブラケットなどアクセサリも充実

DC260 Zoom コダック

少し頑固で自分の信念にこだわりのあるあなたには、160万画素による1ランク上の高画質のこれをお薦め。DigiOS搭載でインターフェイスのカスタマイズも可能だ

D5C-V100 サンヨー

実用主義でエネルギーあふれるあなたには、記録・再生が軽快で高速連写が可能なこれをお薦め。ビデオクリップ撮影もできる上に、35万画素にしてはバツグンの高画質

FinePix700 フジフイルム

生真面目で堅実なあなたには、150万画素の高画質とコンパクト性を兼ね備えたこれをお薦め。やっぱりズームもほしいという人は最新のFinePix600Zをどうぞ

CP-700Z エプソン

楽しいことが好きで行動派、ちょっとよくばりなあなたには、多機能、高画質なこれをお薦め。Hypic機能により200万画素相当を記録可能。接続キット付きでお買い得

C-900ZOOM オリンパス

バランス感覚がよく、他人の意見を取り入れることができる素直なあなたには、ベストセラー機C-840Lの流れを汲むこれをお薦め。ズーム搭載+バージョンアップで人気

価格を調べ、スペックも確認。カタログもチェックした。
人の話も聞いてみたけれど、やっぱり決められないという人のために
チャート式診断をご用意! はたしてあなたにピッタリの機種はどれだろう?
思わぬデジタルカメラとの出会いがめばえるかも!?

チャート診断

あなたにピッタリのデジカメはこれだ!